

記録

令和6年度 第1回福島県立石川高等学校運営協議会について（記録）

令和6年6月13日（木）開催

	地域連携部会	学校活動部会	学校経営部会
参加者	石川町企画商工課課長 水野 憲一 石川町商工会長 齋藤 一彦 PTA 会長 宗像 研也 石川高校地域連携推進担当 齋藤 陽介 石川町高校魅力化コーディネーター 齋藤 正廣 石川高校進路指導主事 渡邊 育子	石川町教育委員会教育課長 二瓶 伸一 石川小学校校長 酒井 修三 同窓会会長 熊井 トシエ 石川高校生徒指導主任 郷 尚之 石川高校教務主任 小田 哲	石川町教育委員会生涯学習課長 佐川 正美 石川高校校長 小川 和英 石川高校事務長 太田 順也 石川高校教頭 川村 智 石川中学校校長 石沢 泰蔵（欠席）
アイデア出し		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の教育資源、教育力を学校につなげる ○ 外部講師の活用 ○ 総合的な学習の時間に導入 ○ 発信の仕方 石川高校はよいことをやっているが地味なのでは ○ 町中に県石生の姿を感じるが、WORK&LIFEも認知度が低い ○ 呼び込むことも大切 空き教室の利用（鉱物を校舎に入れることも？） ○ 小さいころから県石に遊びに来れるような親近感の雰囲気醸成 ○ 受験生を集めるため、地域に必要とされる学校にする ○ 地域、保護者に認めてもらえる、身近に感じてもらえる学校づくりを 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習や生徒活動の面で、アピールできるものが欲しい。 ○ 多くの生徒に石川高校に志願してもらえるように、学校の魅力アップを図り、発信に努める。 ○ 郡内の小中学校が県立石川高校をもっと知る機会があれば良い。 ○ 地域の人からの人的支援をたくさんえることができるが良い。 ○ 地域の方々が、県立石川高校を身近に感じていただければ良い。 ○ 教職員が7人になるが、生徒の成長を実感することで、職員の少なさが感じられないほど職場としても充実した学校 ○ 学習でも校外活動でも自己完結できる学校
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動の充実 ○ 課外活動が地域でできる。 ○ 地域にある会社をもっとPR(石川郡内) ○ キャリアチャレンジの継続 ○ 今年度は、委員のみなさんに教育課程(WORK&LIFE)を知っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒募集、生徒数増加、魅力ある開かれた学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小さい学校だからこそ実現可能な生徒の学習支援を充実させ、遠くの学校へ行かなくても、生徒と保護者からの教育期待が身近にある学校にする。
活動案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は、委員のみなさんに教育課程(WORK&LIFE)を知っていただく。 今後、どのようにしていきたいかの集約。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ インスタグラムでの発信 情報発信 ○ 学校開放での施設利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現教育活動の魅力発信

